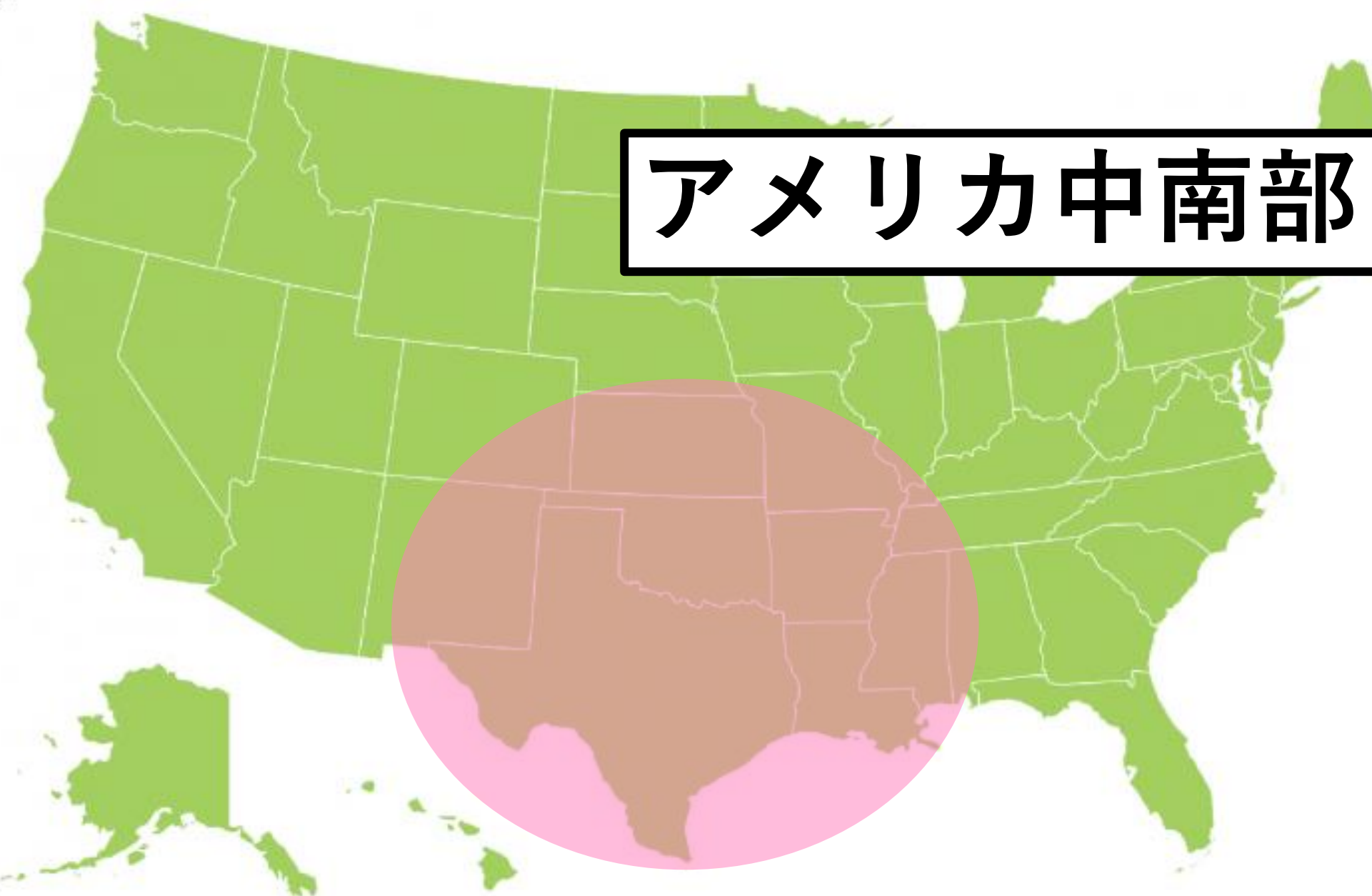




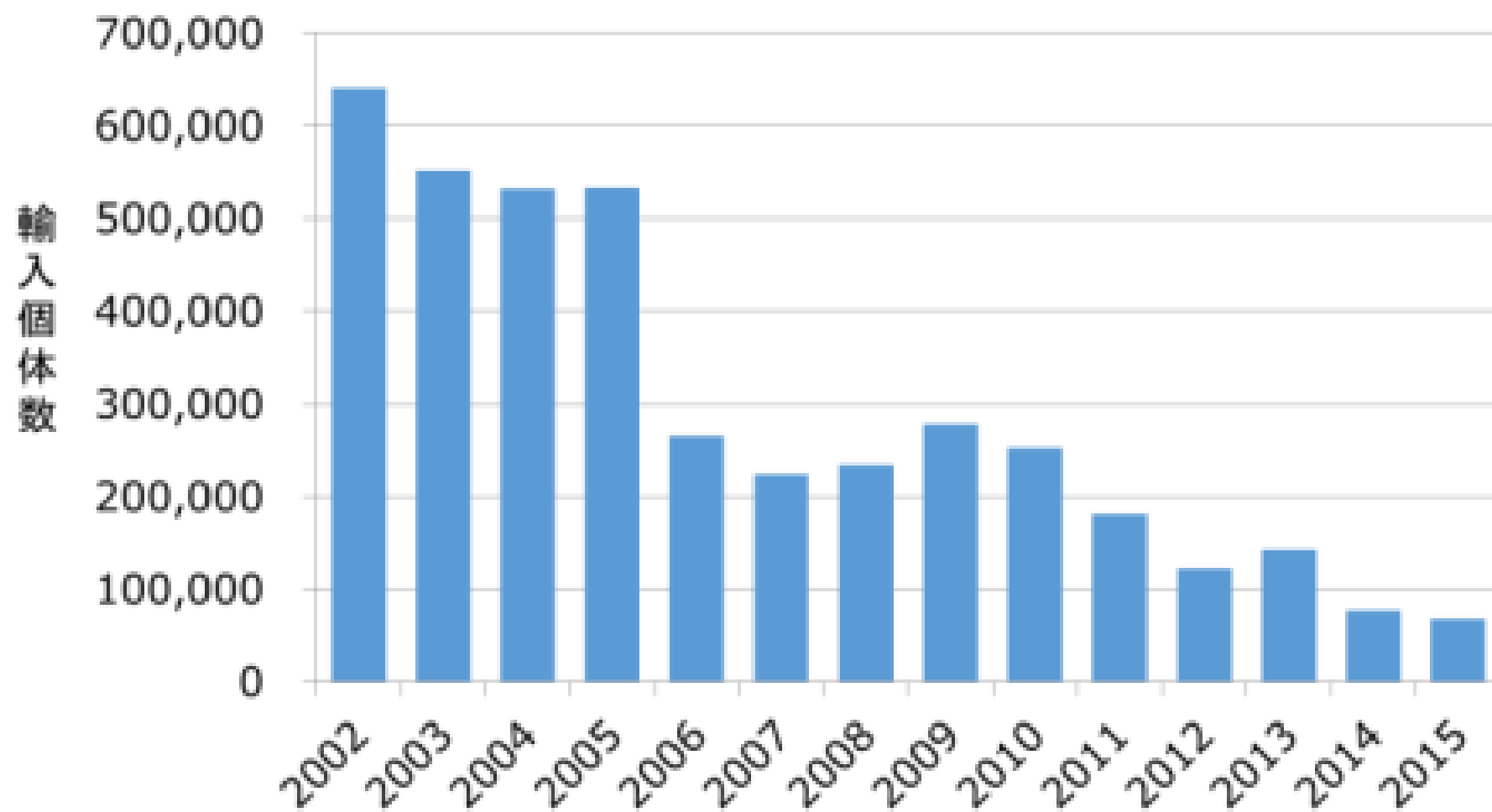
緊急対策外来種

ミシシッピアカミミガメ



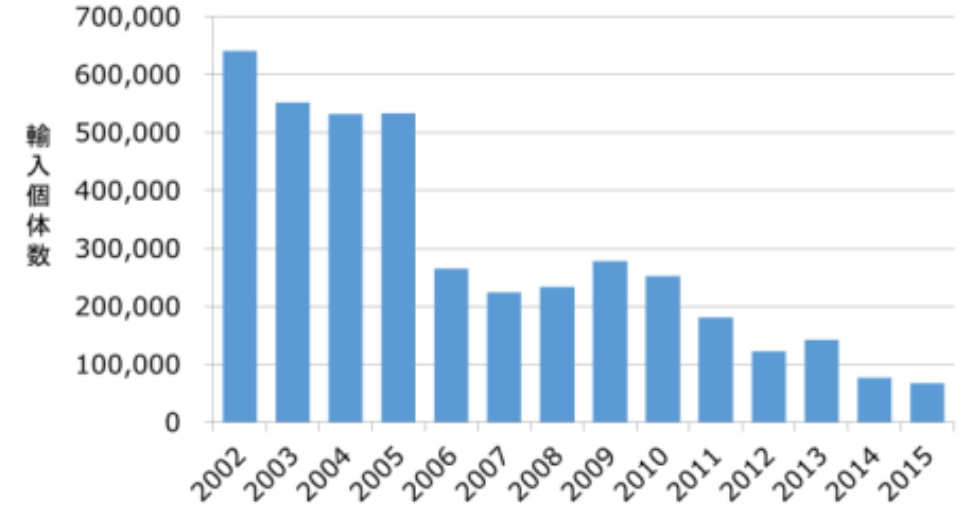
A map of the United States with state boundaries. A large circular area in the center and south is highlighted in brown, and the southernmost part of this circle is highlighted in pink. A text box is overlaid on the map.

アメリカ中南部

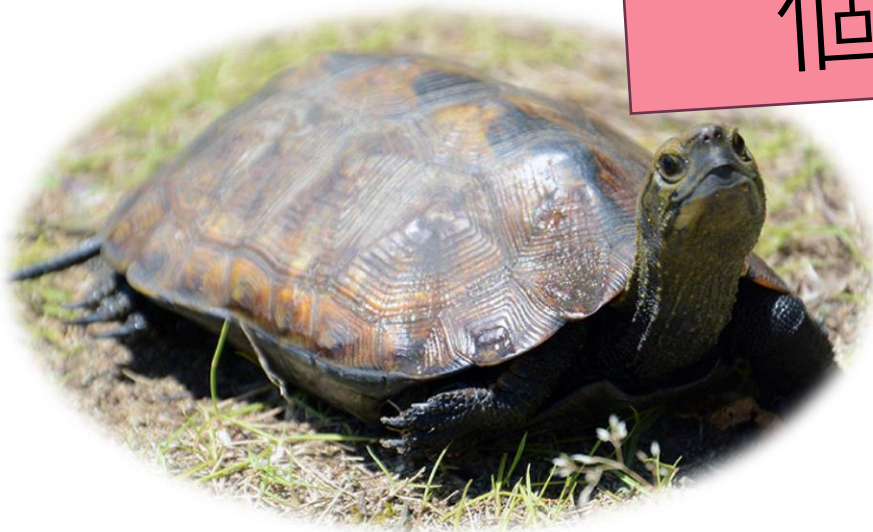




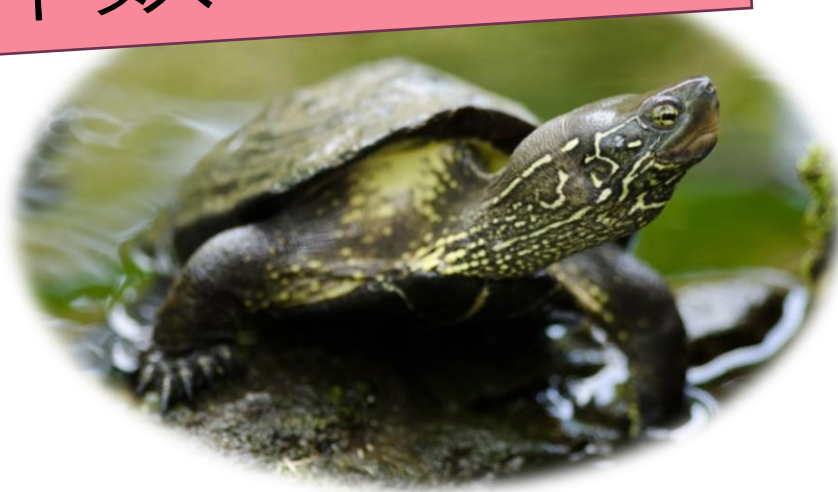
現在の野外での指定個体数
→約800万匹



個体数が減少



ニホンイシガメ



クサガメ





国内のミシシッピアカミミガメの 増加への現実的な対策



研究の目的

外来種の減少の現実的な
解決策を見つけ、
環境保全に役立てる





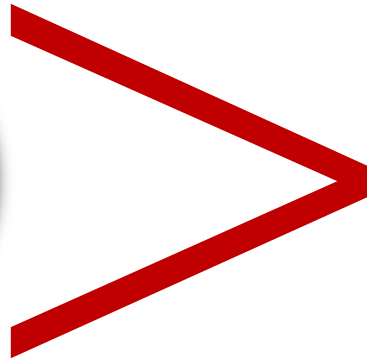
形態と生態の違い

	ミシシッピ アカミミガメ	ニホン イシガメ
大きさ	18～24cm	12～18cm
産卵数	2～23個	1～12個
ふ化の日数	65～75日	60～90日
メスが産卵を 始める年数	約5年	約10年





形態と生態の違い



○ 自然科学的アプローチの展望

現在の対策

池や川にわなを仕掛け、捕獲して殺処分…

800万匹もいる個体を全て殺処分する？

倫理的

現実的に
不可能

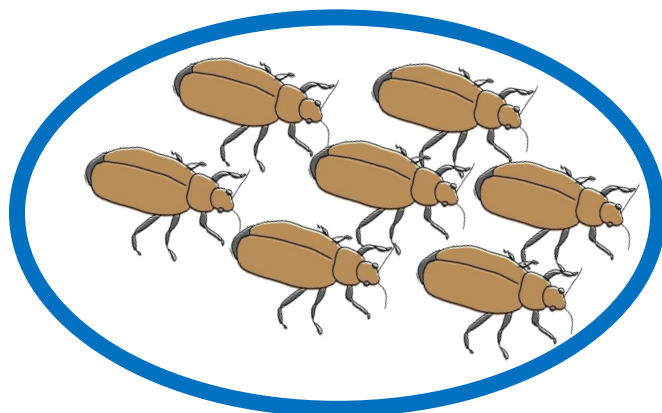




不妊虫放飼法

放射線

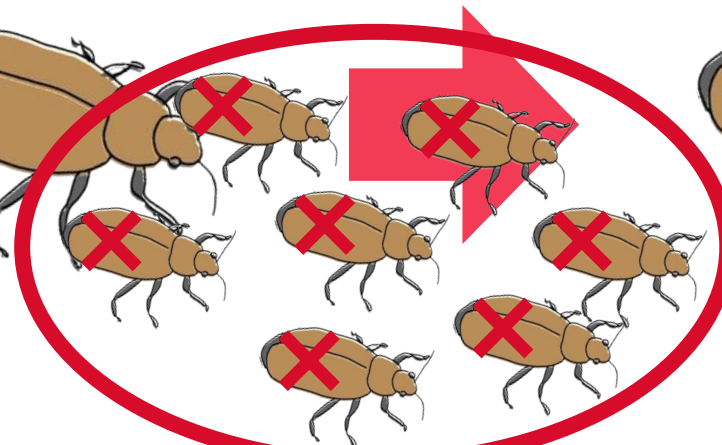
不妊化



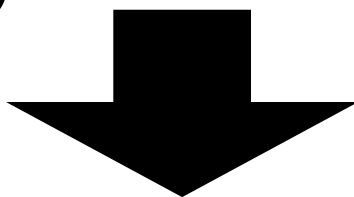
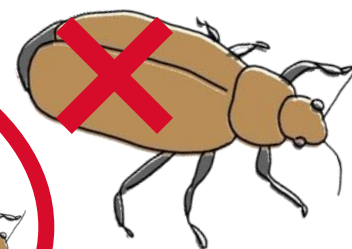
不妊ではない

+

オス

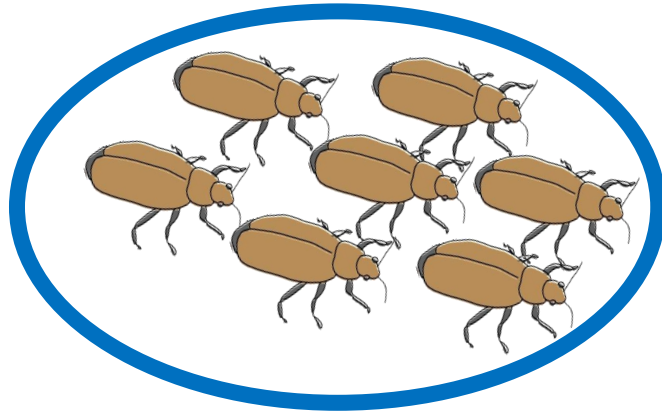


不妊のオス

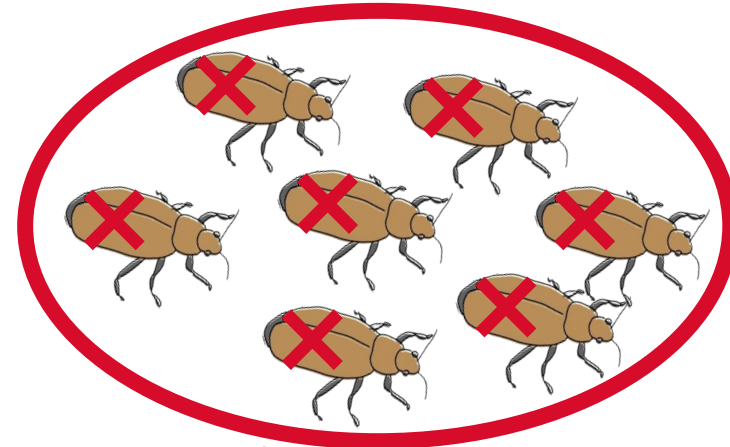
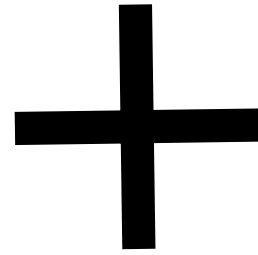


自然に減少していく

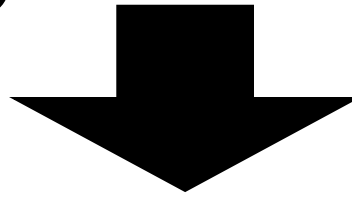




不妊ではない



不妊のオス



自然に減少していく



● 爬虫類でもできるかどうか実験で確かめる

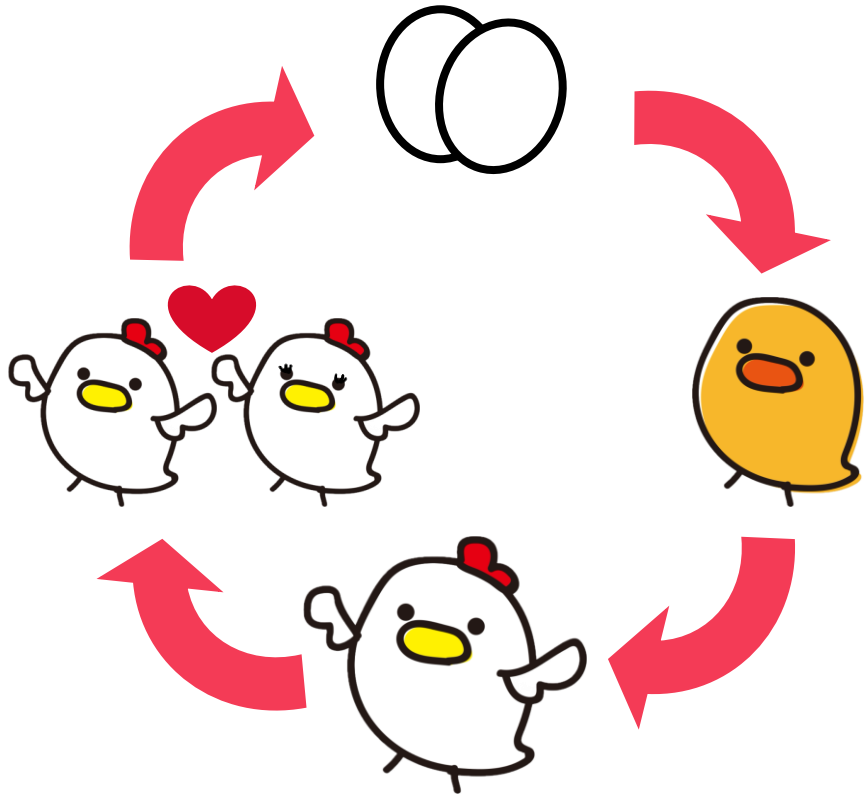
一年間で産卵のサイクルが
成り立つ爬虫類

本来

X線orガンマ線

課題研究

アルキル化剤などの薬品



○ 社会科学的アプローチの展望



アンケート



実験結果

外来種に対する対策や対処に
ついての法律を変える

